

別表2

(2022-3回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>どうちゃんはりょうりにん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作絵 はしもとえつよ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>ニコモ</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年5月</td></tr> </table>	1		書名	どうちゃんはりょうりにん	著者等	作絵 はしもとえつよ	出版社	ニコモ	定価	1,400	対象	幼児～小学校低学年	発行	2022年5月	<p>ぼくのうちは、魚料理のおみせやさん。父ちゃんの作る魚料理はおいしいと評判だ。ぼくの晩ごはんは毎日魚、父ちゃんは魚をきれいに食べるととてもうれしそう。ぼくは魚料理が大好きな父ちゃんにずっと言えないことがあった。きょうこそはち勇気をだして、ハンバーグが食べたいなーといった。父ちゃんは、おどろいて魚のように口をパクパク…。</p> <p>真剣になったり、おどろいたり、ずっこけたり、おもいあったり…べらんめえ口調で魚一筋のぼくの父ちゃん。コミカルなタッチで描かれた絵が楽しい。料理もおいしそうに一冊。</p>
1																
書名	どうちゃんはりょうりにん															
著者等	作絵 はしもとえつよ															
出版社	ニコモ															
定価	1,400															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2022年5月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>きょうはふくらにくまんのひ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 メリッサ・イワイ 訳 横山和江</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>偕成社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年10月</td></tr> </table>	2		書名	きょうはふくらにくまんのひ	著者等	作 メリッサ・イワイ 訳 横山和江	出版社	偕成社	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2022年10月	<p>おばあちゃんのナイナイに、肉まんづくりにさそわれたリリ。リリは、肉まんを作るのも食べるのも大好き。でも冷蔵庫に大事なキャベツがない！ナイナイはリリに「6階のバブシアにわけてもらってきて」と頼む。キャベツをもらったリリは、こんどは2階のグランマのところへ向かうことに…。リリは、おばあちゃんたちの部屋を行ったり来たりして、足りないものを運んだ。6階建てのアパートに暮らす6人のおばあちゃんたちがそれぞれの国の料理を作って…。肉まんを筆頭に出てくる食べものがどれもおいしそう。あかるく伸びやかな絵があたたかい。</p>
2																
書名	きょうはふくらにくまんのひ															
著者等	作 メリッサ・イワイ 訳 横山和江															
出版社	偕成社															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2022年10月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ホホジロザメ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文 沼口麻子 絵 関俊一</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>福音館書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,800</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年6月</td></tr> </table>	3		書名	ホホジロザメ	著者等	文 沼口麻子 絵 関俊一	出版社	福音館書店	定価	1,800	対象	小学校低学年～高学年	発行	2022年6月	<p>どこまでもつづく広い海。大きなかげが、オットセイにしのびよる…。ホホジロザメだ。とがった鼻先、ナイフのような鋭い歯が並んだ口、大きな穴のあいた鼻、サメはこの鼻で獲物のわずかなニオイもかぎわける。そして、今にも動きだしそうなエラ。ホホジロザメがすばやく泳ぐために、肌の表面にはするどくて硬いうるこがびっしり。普段はおとなしく、ゆっくりと泳いでいるホホジロザメ。最大6メートルをこえる、魚類最強ハンターとして迫力満点のホホジロザメの生態や、赤ちゃんザメの誕生の様子なども興味深く描かれた絵本。</p>
3																
書名	ホホジロザメ															
著者等	文 沼口麻子 絵 関俊一															
出版社	福音館書店															
定価	1,800															
対象	小学校低学年～高学年															
発行	2022年6月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>インドのむかしばなし：クリシュナのつるぎ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文 秋野癸巨矢 絵 秋野不矩</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>BL出版</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年7月</td></tr> </table>	4		書名	インドのむかしばなし：クリシュナのつるぎ	著者等	文 秋野癸巨矢 絵 秋野不矩	出版社	BL出版	定価	1,600	対象	小学校低学年～中学年	発行	2022年7月	<p>むかし、カンサという王さまの悪政に苦しむ人々を救うため、天の神ヴィシュヌは、人間の赤ちゃんとして地上に生まれる。ヒマラヤの空のように青く輝くその赤ちゃんは、クリシュナと名付けられる。わんぱくに育ち、やがてりっぱな牧童となったクリシュナ。いよいよカンサ王と対決する時がやってきた。剣と剣で激しくやり合うが、三日三晩経っても勝負がつかず、四日目、クリシュナが天に向かってチャクラ（ヴィシュヌの剣）を呼びついに王をうちとる。青、赤、金等色鮮やかな絵で描かれた場面は、どれも美しく迫力がありエネルギー感がある。</p>
4																
書名	インドのむかしばなし：クリシュナのつるぎ															
著者等	文 秋野癸巨矢 絵 秋野不矩															
出版社	BL出版															
定価	1,600															
対象	小学校低学年～中学年															
発行	2022年7月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>かみなり</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>構成・文 小杉みのり 監修・写真 武田康男</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>岩崎書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年7月</td></tr> </table>	5		書名	かみなり	著者等	構成・文 小杉みのり 監修・写真 武田康男	出版社	岩崎書店	定価	1,300	対象	幼児～小学校中学年	発行	2022年7月	<p>夏のあつくて湿った日の午後、入道雲はみるみるうちに大きくなって、かみなり雲に成長する。ゴロゴロ…ドーン…。雲は空をすっかりおおいつくしてしまった。かみなりの生まれる場所は雲の中。かみなり雲の中でうまれる電気。雲にたまった電気が流れると、みちがひかって大きな音がする。それがかみなり。空高く成長する雲や、縦横に走る稲妻など、短い時間でおこるかみなり雲のドラマをもとに、気象予報士が撮影したさまざまな空の表情に目をうばわれる。かみなり雲のでき方や、かみなりが落ちる仕組みをわかりやすく解説した写真絵本。</p>
5																
書名	かみなり															
著者等	構成・文 小杉みのり 監修・写真 武田康男															
出版社	岩崎書店															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2022年7月															
(分類番号 451)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ウサギのトリン：じぶんのきもち、ともだちのきもち</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 高島じゅん子 絵 小林ゆき子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小峰書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年9月</td></tr> </table>	6		書名	ウサギのトリン：じぶんのきもち、ともだちのきもち	著者等	作 高島じゅん子 絵 小林ゆき子	出版社	小峰書店	定価	1,200	対象	小学校低学年	発行	2022年9月	<p>ウサギのトリンは犬のダダと、はじめて子どもだけで遊ぶ約束をした。おかあさんに作ってもらったパンを持って約束の場所に行くが、ダダはいない。不安になったトリンの前に、植え込みからダダが顔を出す。タヌキのノンキに秘密の場所を教えていたのだという。あやまるダダは袋をトリンに渡し、秘密の場所へ誘う。トリンはもやもやした気持ちのまま、自分が持ってきたパンをダダに押し付け帰ろうとする。土手でひとりになってダダの袋を見ると、ラッキーチョコが出てきた。大切なラッキーチョコを自分にくれたダダの気持ちを思い、もどってダダと再会し、いっしょに公園へ行く。すれちがいがながら、自分の気持ちをふりかえり、相手の気持ちを思いやることのできたトリンの物語。</p>
6																
書名	ウサギのトリン：じぶんのきもち、ともだちのきもち															
著者等	作 高島じゅん子 絵 小林ゆき子															
出版社	小峰書店															
定価	1,200															
対象	小学校低学年															
発行	2022年9月															
(分類番号 913)																

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ワニのガルド</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作・絵 おーなり由子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>偕成社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年7月</td></tr> </table>	7		書名	ワニのガルド	著者等	作・絵 おーなり由子	出版社	偕成社	定価	1,300	対象	小学校中学年	発行	2022年7月	<p>引っ越してきたばかりでクラスでひとりぼっちのヒナちゃんは三年生。朝、学校に行きたくないなど思いながら歯磨きをしようとすると、おばけのワニが現れた。ガルドはさみしい人にだけ見えるのだという。モデルをやっているちやほやされているアヤカちゃんにもガルドが見えるらしい。ガルドは友だちを作ってくれかを好きになるようにとふたりにいう。ガルドが見えるアヤカちゃんがからかわれていると知ったガルドは、みんなにも見えるように姿を現し、大暴れする。ヒナちゃんとアヤカちゃんが仲良くなると、しだいにガルドの姿は見えなくなった。さびしい気持ちをワニのおばけガルドによって克服していく女の子の物語。</p>
7																
書名	ワニのガルド															
著者等	作・絵 おーなり由子															
出版社	偕成社															
定価	1,300															
対象	小学校中学年															
発行	2022年7月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>スノーマン：クリスマスのお話</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 マイケル・モーパーゴ 原作 レイモンド・ブリッグズ 訳 佐藤見果夢 絵 ロビン・ショー</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>評論社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年10月</td></tr> </table>	8		書名	スノーマン：クリスマスのお話	著者等	作 マイケル・モーパーゴ 原作 レイモンド・ブリッグズ 訳 佐藤見果夢 絵 ロビン・ショー	出版社	評論社	定価	1,400	対象	小学校中学年	発行	2022年10月	<p>ジェームズはいなかの農家で両親と犬のパーティーと暮らしている。クリスマスにとまりにくるおばあちゃんは都会暮らし。ジェームズが好きな『スノーマン』の本を読んでくれる。ジェームズはどもることで、学校でもひとりぼっちのことが多い。雪が降りスノーマンを作る。夜目覚めて、スノーマンと家の中を探検したり、農場で遊んだりしているうちに、スノーマンの国へと空をとんでいた。サンタクロースとパーティーを楽しみ、農場へもどる。おばあちゃんに楽しかったスノーマンとの冒険の話をする。すらすらとどもらずに話せた。スノーマンと過ごすなかで、心に思ったことを自然に話せば言葉がすっと出てくるのがわかる。原作『スノーマン』をもとに、愛につつまれた少年のクリスマスの物語。</p>
8																
書名	スノーマン：クリスマスのお話															
著者等	作 マイケル・モーパーゴ 原作 レイモンド・ブリッグズ 訳 佐藤見果夢 絵 ロビン・ショー															
出版社	評論社															
定価	1,400															
対象	小学校中学年															
発行	2022年10月															
(分類番号 933)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>雨の日は好きない</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 佐藤まどか 絵 嶽まいこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>講談社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年10月</td></tr> </table>	9		書名	雨の日は好きない	著者等	著 佐藤まどか 絵 嶽まいこ	出版社	講談社	定価	1,400	対象	小学校高学年	発行	2022年10月	<p>七海は親友の詩乃と自分を比べてしまう。体が丈夫なだけではないところがない。母が再婚して新しいおねえちゃんができる。生まれつき体が弱く、入院していてまだ一度も会えない。幸の病院に行くことが多くなった母とぶつかり、万引きをしてしまい、学校もズル休みすることになる。ある日、思い立ちその姉の幸に会いに行く。年齢よりずっと小さく、ベッドで過ごす幸にとまどうが、ふたりは話し出して仲良くなる。学校では詩乃ときまづくなる。幸の容態が急変し、昏睡状態が続く日々。詩乃の家庭の事情も知り、ふたりは再び心が通じるようになる。幸が目覚め、家族も再生していく予感。人と自分を比べ自信を持ってないでいたが、みんなそれぞれ事情を抱えて生きていること知る少女の物語。</p>
9																
書名	雨の日は好きない															
著者等	著 佐藤まどか 絵 嶽まいこ															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	小学校高学年															
発行	2022年10月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>新装版キムの十字架：松代大本営地下壕のかげに</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 和田登 絵 和田春奈</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>しなのき書房</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～高校生</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年8月</td></tr> </table>	10		書名	新装版キムの十字架：松代大本営地下壕のかげに	著者等	作 和田登 絵 和田春奈	出版社	しなのき書房	定価	1,200	対象	小学校高学年～高校生	発行	2022年8月	<p>松代大本営地下壕跡の壁に残された朝鮮文字の落書きは、日本が敗戦した1945年に書かれたもので、「おまえらも、軍隊の壕も、みんなおわりだ!」という喜びがこめられたものだった。落書きの謎を追うなかで、牧師を通じて、キム兄弟のストーリーが明らかになる。朝鮮南部の貧しい農村に生まれた兄のジェハとキリスト教の信仰を得た弟のセファンは、離ればなれになりながらそれとは知らず、二人とも松代にいた。しかしセファンはすでに命を落としていた。板切れに書かれた文字からセファンがいたことを知ったジェハは、弟の死んだ穴を探し、岩壁に十字架を刻み、祈りをささげる。朝鮮人強制労働の事実と、朝鮮の人たちの側からの思いを描いた物語。事実を再検証し、子どもに読み易い表記にした新装版。</p>
10																
書名	新装版キムの十字架：松代大本営地下壕のかげに															
著者等	作 和田登 絵 和田春奈															
出版社	しなのき書房															
定価	1,200															
対象	小学校高学年～高校生															
発行	2022年8月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>給食アンサンブル2</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 如月かずさ 絵 五十嵐大介</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>光村図書</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年10月</td></tr> </table>	11		書名	給食アンサンブル2	著者等	作 如月かずさ 絵 五十嵐大介	出版社	光村図書	定価	1,200	対象	中学生～	発行	2022年10月	<p>慎吾はバスケット部を退部した。膝の痛みが理由だが、実はやめたい気持ちがあった。こんな自分を部員たちはどう見ている？憂鬱な慎吾を、級友が吹奏楽部に誘ってくれた。たのしい、でも自分は本当に音楽をやりたいのか？迷う慎吾の背中を押して、本当の気持ちに気づかせてくれたのは、給食だった…。推しキャラのマンガ連載終了のショックから立ち直れない朋華、朋華のように熱くなれない自分に悩む楓乃、吹奏楽部の改革に孤軍奮闘して心が折れそうな高城、「いい人」しか取り柄がない三熊、ずっと慎吾に片想いしてきた千秋、それぞれ悩みを抱える6人の中学2年生が、給食をきっかけに自分のほんとうの気持ちに気づいていく。答えの見つからない悩みに胸がいっぱいになってしまう青春時代、自分で考え抜き、前に進む姿がまぶしい。温かい感動を呼ぶ佳作。</p>
11																
書名	給食アンサンブル2															
著者等	作 如月かずさ 絵 五十嵐大介															
出版社	光村図書															
定価	1,200															
対象	中学生～															
発行	2022年10月															
(分類番号 913)																

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">12</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ロンドン・アイの謎</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">著者等</td> <td>著 シヴォーン・ダウド</td> </tr> <tr> <td>訳 越前敏弥</td> </tr> <tr> <td>装画 船津真琴 装幀 中村聡</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東京創元社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年7月</td> </tr> </table>	12		書名	ロンドン・アイの謎	著者等	著 シヴォーン・ダウド	訳 越前敏弥	装画 船津真琴 装幀 中村聡	出版社	東京創元社	定価	1,900	対象	中学生～	発行	2022年7月	<p>12歳のテッドには自閉的な傾向があり、「気象学」にはずばぬけて詳しいが、人の感情を読み取るのは苦手で、彼を理解してくれる人は少ない。ある日、もうすぐイギリスを旅立つといこのサリムの希望で、姉のカットと三人で、巨大な観覧車「ロンドン・アイ」に行く。行列に並んでいるとき、見知らぬ男がチケットを一枚くれたので、サリムが先に乗ることになった。ところが、一周回って戻ってきた観覧車のカプセルから、サリムは降りてこなかった。いとは、消えてしまったのだ。迷子か？誘拐か？事故か？悲しむ叔母と混乱する両親、警察の捜査も難航する中、テッドは様々な可能性を考えつき、姉と一緒にサリムを探し始める。たぐいまれな能力で推理していく過程も見事だが、姉との距離を縮め、自分のこだわりの殻を破ろうとするテッドの成長も頼もしい。読み応えのある青春ミステリー。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
12																		
書名	ロンドン・アイの謎																	
著者等	著 シヴォーン・ダウド																	
	訳 越前敏弥																	
	装画 船津真琴 装幀 中村聡																	
出版社	東京創元社																	
定価	1,900																	
対象	中学生～																	
発行	2022年7月																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">13</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ウクライナから来た少女：ズラータ、16歳の日記</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>文・絵 ズラータ・イヴァシコワ</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>世界文化社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年10月</td> </tr> </table>	13		書名	ウクライナから来た少女：ズラータ、16歳の日記	著者等	文・絵 ズラータ・イヴァシコワ		出版社	世界文化社	定価	1,500	対象	中学生～	発行	2022年10月	<p>16歳のズラータはウクライナのドニプロ生まれ、絵を描くことや太宰治が大好きで、独学で日本語を学び、小説やアニメを楽しんでいた。そんな暮らしがあの日一変した。「明日から戦争になります」先生が突然言った。ロシアからの攻撃が始まり、生活が徐々に厳しくなっていくなか、母親の強い勧めでズラータはひとり日本に向かうことになる。家族と別れ、駅で電車を待つ人々の姿を、私たちは報道で毎日目にしてきた。だが、極寒のウクライナで、極度の不安と悲しみのなか長い旅を続ける人々、危険な故郷に残る人々の気持ちを、本当にはわかっていなかったのだと思い知らされる。次々と予想外のトラブルが起こるが、人との温かいつながりに助けられることもあり、家を出てから3週間後にズラータはようやく日本にたどり着く。その克明な記録をズラータは日本語で書き、挿画も描いている。現在進行形の戦時下の人々の苦しみを伝える、今読むべき一冊。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 289)</p>	
13																		
書名	ウクライナから来た少女：ズラータ、16歳の日記																	
著者等	文・絵 ズラータ・イヴァシコワ																	
出版社	世界文化社																	
定価	1,500																	
対象	中学生～																	
発行	2022年10月																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">14</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>「オードリー・タン」の誕生：だれも取り残さない台湾の天才IT相</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>著 石崎洋司</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年4月</td> </tr> </table>	14		書名	「オードリー・タン」の誕生：だれも取り残さない台湾の天才IT相	著者等	著 石崎洋司		出版社	講談社	定価	1,500	対象	中学生～	発行	2022年4月	<p>2020年春、日本で薬局に長い行列ができていたころ、台湾では政府がマスクの買い上げと実名販売を決め、わずか三日でマスクマップをインターネットにあげて、パニックを防いだ。この政策の中心にいたのが、史上最年少でIT大臣に任命されたオードリー・タンだ。IQ180、8歳でプログラミングを始め、15歳でソフトウェア会社の起業に参画…勝ち組のイメージがあるオードリーだが、子供時代には様々な生きづらさを感じてきた。画一的な授業や体罰に悩み、いじめにもあい、不登校と転校を繰り返した小学校時代。ドイツで学んだ後、台湾の教育改革を夢見て帰国。多くの仲間とともに学びを深め、やがて政治に関わるようになっていく。ITを駆使して国民に開かれた政治、敗者のいない社会を目指すオードリーの考え方から、どの世代も多くの示唆を受けるだろう。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 289)</p>	
14																		
書名	「オードリー・タン」の誕生：だれも取り残さない台湾の天才IT相																	
著者等	著 石崎洋司																	
出版社	講談社																	
定価	1,500																	
対象	中学生～																	
発行	2022年4月																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">15</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>恋愛問題は止まらない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>作 吉野万理子</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年5月</td> </tr> </table>	15		書名	恋愛問題は止まらない	著者等	作 吉野万理子		出版社	小学館	定価	1,400	対象	中学生～	発行	2022年5月	<p>「野球部員は丸刈り！」と監督が指令を出した。原因は部員の『恋愛問題』らしい。「それは野球部の人気者上里君も丸刈りになるっていうこと？」上里に憧れている女子たちは動揺。一方、あっさり丸刈りにしてきた上里くんは、彼女とは別れたけれどなにかわけがありそう。しかも監督は伝統の女子応援部の応援も遠慮したいと言ってきた。応援部はどうなっちゃうの？主人公の違う30のみじかい物語がつながっていくオムニバス形式。タイトルから想像するほど軽いお話でもなく、中学生の淡い憧れや、まだ霧の向こうにある将来への夢、自分の胸にしまっている思い、同じときを生きているそれぞれの心の動きが鮮やかに切り取られ、一気に読ませるさわやかな物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>	
15																		
書名	恋愛問題は止まらない																	
著者等	作 吉野万理子																	
出版社	小学館																	
定価	1,400																	
対象	中学生～																	
発行	2022年5月																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">16</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>宙ごはん</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>著 町田そのこ</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年6月</td> </tr> </table>	16		書名	宙ごはん	著者等	著 町田そのこ		出版社	小学館	定価	1,600	対象	高校生～	発行	2022年6月	<p>宙が物心ついたころには、産んでくれた『お母さん』＝花野の妹である『ママ』＝風海の夫婦に育てられていた。小学校に上がる時、夫の海外赴任に同行する風海のもとを離れて宙は花野と暮らすことになる。しかし、イラストで生計を立てている花野には生活能力がなく、子どもの世話どころか自分の世話も出来なかった。そこへ手を差し伸べてくれたのは、花野の中学時代の後輩である佐伯恭弘。商店街のビストロで働く佐伯は、厳めしい外見と違って朗らかでやさしく、毎日のごはんを用意してくれた。花野と喧嘩して家を飛び出した時には、パンケーキを作ってそのレシピも教えてくれる。宙は教わったレシピをそれからずっとノートに書きとめていく。たくさんのお会いと別れの中で、成長していく宙が目指す幸せの物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>	
16																		
書名	宙ごはん																	
著者等	著 町田そのこ																	
出版社	小学館																	
定価	1,600																	
対象	高校生～																	
発行	2022年6月																	

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">17</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ぼくらは、まだ少し期待している</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 木地雅映子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>中央公論新社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,850</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年10月</td> </tr> </table>	17		書名	ぼくらは、まだ少し期待している	著者等	著 木地雅映子	出版社	中央公論新社	定価	1,850	対象	高校生～	発行	2022年10月	<p>2013年、札幌に住む高校3年生のテルこと土橋輝明には、高校生らしくない資産があり校内でも噂になっている。秦野あさひとは優等生同士、学校行事にペアで駆り出される仲だ。テルの腹違いの弟の航はあさひと同じ料理研究部に所属している。ある日、テルはあさひから彼女の弟に関する相談を持ちかけられる。お互いに複雑な家族関係を持つ二人だったが、意思疎通がなされぬまま、あさひは家出をして札幌から姿を消す。テルは航と手がかりを追い、埼玉県にある児童自立援助ホームであさひの弟の新や施設の運営者たちと出会う。震災の癒えない傷や経済的不安、スピリチュアルの功罪、支援のあり方など、過去に傷つき複雑な背景を持つ子どもたち。自分たちの力を信じ、未来への期待をこめた力強い希望の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
17																
書名	ぼくらは、まだ少し期待している															
著者等	著 木地雅映子															
出版社	中央公論新社															
定価	1,850															
対象	高校生～															
発行	2022年10月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">18</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>レペゼン母</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 宇野碧</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年8月</td> </tr> </table>	18		書名	レペゼン母	著者等	著 宇野碧	出版社	講談社	定価	1,400	対象	高校生～	発行	2022年8月	<p>64歳の深見明子は梅農家で、和歌山で深見農園を営んでいる。夫は若いころにすい臓がんで他界し、一人息子の雄大は三年前に失踪した。「親子のようなもの」である沙羅がラップバトルに出たいと言い出し、それに同行した明子はその様子に怒り心頭。その上、息子の借金の督促が届き、新たな怒りに火が付く。次のバトルに向け沙羅の練習に付き合う明子だったが、本番で急病となった沙羅の代わりに舞台へ上がり仇を取る。本戦に誘われた明子は戸惑うが、偶然、雄大が出場したラップバトルの動画を見つければ、ところが警察から雄大が大麻所持で逮捕されたと連絡が入り、すれ違う思いにまた怒りが沸いてくる。そして明子は息子と本気の喧嘩をするため、本戦に出場する。小説現代長編新人賞受賞作。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
18																
書名	レペゼン母															
著者等	著 宇野碧															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	高校生～															
発行	2022年8月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">19</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>自閉症のぼくは書くことで息をする：14歳、ナチュラルリストの日記</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 ダーラ・マカナルティ 訳 近藤隆文</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>辰巳出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年7月</td> </tr> </table>	19		書名	自閉症のぼくは書くことで息をする：14歳、ナチュラルリストの日記	著者等	著 ダーラ・マカナルティ 訳 近藤隆文	出版社	辰巳出版	定価	1,600	対象	高校生～	発行	2022年7月	<p>北アイルランドに住むダーラ・マカナルティによる14歳の1年間の日記。ダーラの家族は両親と弟と妹で、父以外全員が自閉症である。先生から「1段落だって紡げはしませんよ。」と言われていたダーラ。しかしその日記には、クロウタドリやオオタカなどのたくさんの鳥類に始まり、両生類や昆虫、植物など素晴らしい自然が生き生きと記されている。また、家族の日常や学校の様子なども、その時の気持ちとともに書かれている。彼の視点で自身が持つ豊かな世界が描き出され、北アイルランドの四季の美しさが伝わってくる。原題は「Diary of a Young Naturalist」。ウェインライト賞(2020年、英国ネイチャー・ライティング部門)およびBooks Are My Bag Readers Award(2020年、ノンフィクション部門)を史上最年少で受賞している。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 935)</p>
19																
書名	自閉症のぼくは書くことで息をする：14歳、ナチュラルリストの日記															
著者等	著 ダーラ・マカナルティ 訳 近藤隆文															
出版社	辰巳出版															
定価	1,600															
対象	高校生～															
発行	2022年7月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">20</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？：サメ博士たちの好奇心まみれな毎日</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 佐藤圭一/富田武照/松本瑠偉</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>産業編集センター</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年6月</td> </tr> </table>	20		書名	沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？：サメ博士たちの好奇心まみれな毎日	著者等	著 佐藤圭一/富田武照/松本瑠偉	出版社	産業編集センター	定価	1,800	対象	高校生～	発行	2022年6月	<p>著者は沖縄美ら島財団総合研究センター動物研究室の研究員で、美ら海水族館に深く関わっている。水族館の入館料が少し高めな理由、コロナ禍の中で水族館を臨時休館しなければならなくなった時に考えたこと、そこから生まれた様々なアイデア。それぞれが美ら海水族館へやってきた経緯やコロナ禍の中の水族館のこと、水族館の存在意義などについても語られている。とはいえ、サブタイトルに「サメ博士たちの好奇心まみれな毎日」とあるように、やっぱり話の中心は何と言ってもサメである。美ら海水族館の展示の裏で、こんな風に調査研究を行っている人々がいるということに心を動かされるノンフィクション。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 480)</p>
20																
書名	沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？：サメ博士たちの好奇心まみれな毎日															
著者等	著 佐藤圭一/富田武照/松本瑠偉															
出版社	産業編集センター															
定価	1,800															
対象	高校生～															
発行	2022年6月															